



もちの木とともに

内原小学校学校だより
第 13 号
令和元年 12 月 4 日発行

早いもので、年末の声が聞かれる季節となりました。気温も下がり、かぜ予防のためのお茶うがいも始まりました。先日、登校指導をしていたときのことです。ランドセルを背負ったまま、黄色いごみ袋を集積所に出している低学年児童を見かけました。「決められたお手伝いなのかな」とたずねると、「いつもじゃないけど、お母さんに頼まれたのでやっている」とのことでした。そんな会話をしていると、後ろからさらに大きな袋を抱えた高学年のお姉さんが出てきました。「2人ともえらいね」と声をかけると、にっこりと笑顔を返してくれました。なにげない日常の1コマでしたが、しっかりとした家族の絆や一人立ちしつつある子どもの育ちが感じられ、寒さの中に温かさを感じたひとときでした。

山口県のある方がおっしゃったという「子育て四訓」を思い出しました。

- | | |
|------------|-------|
| 1. 乳児はしっかり | 肌を離すな |
| 2. 幼児は肌を離せ | 手を離すな |
| 3. 少年は手を離せ | 目を離すな |
| 4. 青年は目を離せ | 心を離すな |

小学校にあたる幼児期から少年期は、手をかけ過ぎず、安全などに配慮しながらも(目は離さない)、友達との付き合い等から社会性が育まれるのを見守る、ということでしょうか…インターネットや交友関係の複雑化など、親の目が届きにくいことが増えた現代社会ですが、だからこそ、適度な距離感を保ちながら「子ども自身の成長」を見守り、機会をとらえて、指導すべき時はしっかりと指導していくことが大切になってくるのだと思います。

素晴らしい6年生！陸上記録会がんばりました。

先月6日(水)、秋晴れの下で本年度の水戸市陸上記録会が行われました。本校からも6年生が参加し、それぞれが選んだ種目に精一杯取り組みました。継走大会(参加25チーム)では6年2組女子、走り高跳び女子ではMさん(記録130cm)が、それぞれ優勝したのをはじめとして、多くの子どもたちが入賞を果たしました。また、惜しくも入賞を果たせなかった子どもたちも、自己記録を更新して喜んだり、思うように記録が伸びず悔し涙を流したりするなど、たくさんの成長が見られた1日となりました。練習期間中のご理解とご協力、当日の大きな声援など、保護者のみなさまのご支援が子どもたちの力となりました。ありがとうございました。

陸上記録会で感じたことを短歌に詠みました

がんばれと 応援の声 ひびいてる タスキをつなぎ みんなでゴール Y・i	自己ベスト 目指して全力 走りだし みんなの応援 心にひびく D・S	ピストルの 音といっしょに 走り出す ゴールめざして 全力しっそう M・S	記録会 みんなで応援 声かれる 内原の声 ケースタにひびく S・T	記録会 周りにせず 駆け抜ける 目標目指し 記録目の前 Y・T	記録会 緊張したけど やりきった 自分のベストの 限界こえた S・F	応援の 声で自信が みなぎった ピストルがなり さあ、スタートだ S・F
--	--	---	---	---------------------------------------	--	--